

農林省の主要農產物對策要綱の發表

農林省に於いては大東亞共榮圈内に於ける食糧對策樹立を目的として、同省農林計畫委員會を中心種々特別委員會を設けて考究しつゝあつたが、その具體的

なる成案を得て昭和十七年四月新聞紙を通じて之を發表した。之を掲ぐれば次の如くである。

主要農產物對策要綱

主要農產物對策については差當り今後十箇年を一期

概ね左により計畫を概定するも其範囲の範囲擴大せ
る場合においてはこれに對應して計畫を補修するもの

一、生產計畫

として東亞共榮圏の各地域につき計畫を樹立すること

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

西漢書卷之三十一

五九〇〇九
△
七八四八一
△
一三二、七三三
△
九七〇六一

六、九三 △ 五、四八 九、五七 △ 二、一六

ט' ט' ט' ט' ט' ט' ט' ט' ט'

卷之三

卷之三

卷之十七

三、三
△
三、七九
三、九三
一、三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之八十一

卷之三

とす

ハ、滿洲

(ロ) 纖維作物、茶等に付ては東亞共榮圈内の生

産、交流、技術指導等の対策を考究すること

3 畜産に付ては農業經營方策と關聯して飼料供給確

保を留意しつつその対策を考究すること

4 水産に付ては東亞共榮圈内全水域に亘る生産、配

5 食糧の増産確保に不可缺なる肥料に付ては硫酸ア

ソモニア、石灰窯素および過磷酸石灰等の生産擴充

を圖ると共に大東亞共榮圈内におけるカリ資源の發

見開墾に特段の努力を拂ふこと

2 支那

北支、蒙疆、中支および南支を通じ食糧の自給度の

強化を圖るため各地域の事情に應じそれべく雑穀および小麥の外棉花その他の纖維作物の生産増強を期すこと

3 南方諸地域

内閣統計局の調査に係る全國及都市生計費指數、並に商工省の調査に係る都市小賣物價、卸賣物價、及び質銀概況を昭和十七年三月十日、十六日及十七日官報所載のものより一部再録すれば以下の如くである。

内閣統計局の生計費指數並に商工省の物價及賃金指數の發表

1 平戰兩時に於ける主要食糧の供給確保を期する

2 其の他

(イ) 蔬菜等青果物に付ては國內人口の増加に即して國內自給の確保に力を注ぐの外大東亞共榮圈に對する種苗等の供給、技術指導等の対策を考究すること

3 生計費指數

(1) 全國生計費指數
本表は月收百圓以下六十圓以上の労働者、給料生活者の生活に付き昭和十二年七月を100として比較したる生計費指數なり

4 労 勵 者

(昭和十七年一月分、内閣統計局調査)

5 本月

前月ヲ百基

シタル

騰落

前年同月ヲ

百トシタル

騰落割合

四七%

(2) 朝鮮の大豆に付ては一定數量を内地に供給

し得るが如く生産を期すること

(3) 臺灣の砂糖に付ては現狀維持に止むるものとし日滿支に對する供給に不足する分に付ては

南方に依存すること

1 内地、朝鮮、臺灣および滿洲を通じ主要食糧自給體制の確立を圖るため適當すべき物資の種類および交易事情を勘案し更に期間を細分したる生産計畫を十箇年後の生産目標を概定すること左の如し、但し考慮するものとす食糧自給確保は人口および民族政策と不可分の關係ある事項なるに鑑み、これが完全のため農業生産力の擴充、農產物價格その他に關する各般の政策を樹立實行し以て農業および農家の保護育成に遺憾なきを期すること

イ、内地ニ先づ米麥の生産に主力を注ぎ次いで甘藷、馬鈴薯の生産に努力するものとし
(1) 米に付ては約一二〇〇〇千石の増産を圖り約八三〇〇〇千石の生産を期すること
(2) 麥類に付ては大麥、裸麥約一二〇〇〇千石(裸麥に換算)の増産を圖り約二五〇〇〇千石(裸麥に換算)小麥を併せ約三千八百萬石の生産を期すること

(3) 甘藷に付ては約二十億貫、馬鈴薯に付ては

約十億貫の生産を期すること

ロ、朝鮮および臺灣

(1) 米に付て主力を注ぐこととし兩地域を通じ内地に對する供給を確保するが如く生産を期すること

(2) 朝鮮の大麦に付ては一定數量を内地に供給

し得るが如く生産を期すること

(3) 臺灣の砂糖に付ては現狀維持に止むるものとし日滿支に對する供給に不足する分に付ては

南方に依存すること

内

内

譯